

2025年度 活動報告会を開催しました

日時：2月4日（水）10時30分～12時

大学の森をフィールドに活動してきた4つのグループが、これまでの取り組みや成果を発表しました。報告会では、活動を通じて得た学びや課題を共有するとともに、他グループからの質問や地域連携課の職員による助言もいただき、次年度の活動に向けた新たな視点や気づきを得る機会となりました。



-----全体の振り返り-----

①学生の主体的な変化と成長



1年間の活動を通じて、自身の主体性や社会性に変化を感じたという感想が多くありました。

②共通の課題は「チーム内外の連携」



反省点として挙げたのはコミュニケーション不足や他グループとの連携。これらが次年度の課題となります。

各グループの報告内容

動物調査チーム

外来種のアライグマの罠設置を行い、1匹を捕獲するなど、生態系保全に向けた実践的な活動を行いました。併せて、森に生息するカタツムリなどの動植物の観察・確認も実施しました。

学生からは「暗い中、寒い中でも調査に行く楽しさや自分の適性に気づくことができた」といった前向きなコメントがありました。



蚊を減らすチーム

森に流れる川の水量を一時的に増やすことで、ボウフラを流し去る効果を期待して、試行を行いました。サッカー場の散水栓から放水し、森の入口までの到達時間を計測するなど、実践的な検証を行いました。今年度は、蚊が減少したかどうかまでは確認できませんでしたが、今後は屋外で活動する学生へのアンケート調査や、客観的な数値により効果を確認したいとの展望が語られました。



樹名板&エキノコックス対策チーム

樹名板設置計画

利用者が木の名前を知ることができるよう、木の板を使用したシンプルなデザインの樹名板を計画しています。幹の成長を妨げないスプリング式の固定方法により、2026年春の設置を予定しています。



エキノコックス対策

月に1回、キツネが出没しやすい場所を中心に駆虫薬を混ぜた餌（ベイト）の散布を行いました。

遊歩道計画&次年度大学祭材料チーム

遊歩道計画

現在、行き止まりが多い森のルートを、より歩きやすい動線となるようルート構想を行いました。環境への負荷に配慮しながら周回できるよう、遊歩道の設計を進めています。また、報告の際には、遊歩道の設置構想について他グループと意見交換を行いました。

大学祭材料準備

大学祭で2年連続実施しているクラフト体験は、地域の方々にも人気のイベントとなりました。一方で、材料不足という課題も生じたことから、今年度中に材料の事前準備を進める予定でしたが、なかなか予定通りに進みませんでした。

